



HARA MUSEUM ARC

「現代」と「伝統」が出会う展示、ひとつの作品として洗練された建物、四季折々に変化する風景

伊香保温泉の近く、榛名山麓の高原に位置するハラ ミュージアム アークは
休日のひとときをゆったりと過ごせる美術館です

ハラ ミュージアム アーク

ハラ ミュージアム アークは原美術館(東京都品川区)の別館として1988年に開館しました。黒い色調で統一されたシャープなフォルムの建物は磯崎新が設計し、豊かな緑に囲まれて美しいたたずまいを見せています。

これまで世界の現代美術を集めた「原美術館コレクション」の展示や、さまざまな企画展、教育普及プログラムを行ってきましたが、2008年には開館20周年を記念して大幅な増改築を行いました。静謐な和の空間に仕上げた特別展示室「観海庵」と、専門家に調査研究の機会を提供する開架式収蔵庫を新設し、同時にカフェダールとザ・ミュージアムショップもリニューアルしました。「観海庵」落成後は現代美術だけでなく東洋古美術の「原六郎コレクション」も展示しており、時代や地域の枠を越えて多彩な美の表現を味わうことができます。また、美術館の隣には動物たちとの触れあいを楽しめる伊香保グリーン牧場があるほか、古くから湯治場として知られる伊香保温泉も車で5分の近さ。美術館の鑑賞とあわせて休日のやすらぎとくつろぎを得られる環境となっています。

現代美術ギャラリーA・B・C

ピラミッド型の屋根を持つ正方形のギャラリーAと両翼に細長く伸びるギャラリーB・C。シンメトリーを意識して配置された3つの展示室は開館時に作られたもので、やわらかい自然光がトップライトから降り注ぐシンプルな空間です。ここでは「原美術館コレクション」を中心に、アートシーンの先端を見つめる展示から、家族連れで楽しめる現代美術入門的な展示まで、さまざまな視点で現代美術を紹介しています。また、3室の中央にある半野外のホールやギャラリー内部を使って、体験学習型のワークショップや講演会などの教育普及プログラムも随時行っています。

特別展示室「観海庵」

2008年にオープンした観海庵は、書院造をモチーフにした静謐な空間です。木、石、和紙、漆喰で仕上げた内部は、そのいたるところに今日では希少となった名工の技が光っています。その一方、展示照明には光ファイバーや発光ダイオードによる最新技術を駆使して、作品をより美しく見せる光の環境を実現しました。ここでは、東洋古美術の優品からなる「原六郎コレクション」を紹介すると同時に、現代美術の展示も織り交ぜ、さまざまな美の表現の可能性を追求しています。

原美術館コレクション[現代美術]

1950年代から現在までの、世界各国の現代美術作品を幅広く収集しています。抽象表現主義やポップアートをはじめ20世紀後半の美術史を彩った巨匠から、21世紀のアートシーンで活躍している作家まで、多彩な表現を網羅しています。作品は絵画、彫刻、写真、映像、インスタレーションなど多岐にわたり、2008年現在で約1,000点にのぼります。ハラ ミュージアム アークでは、テーマや視点をその都度変えて作品を選び、随時「原美術館コレクション展」を開催しています。

原六郎コレクション[東洋古美術]

明治時代の産業振興に貢献した実業家、原六郎(1842-1933)が収集した古美術コレクションのうち、近世日本絵画を中心に、書、工芸、さらには中国美術など、約120点を所蔵しています。なかでも中国陶磁の真髄を伝える国宝「青磁下蕪花瓶」、美人画の名品である重要文化財「縄暖簾図屏風」、円山応挙の大作画巻「淀川兩岸図巻」、永徳ほか狩野派一門による「三井寺旧日光院客殿障壁画」が代表作です。磯崎新は「三井寺旧日光院客殿障壁画」がかつて飾った滋賀県・三井寺(園城寺)の旧日光院客殿の書院造に発想を得て「観海庵」を設計しました。

屋外展示作品

ハラ ミュージアム アークには現在、アンディ ウォーホルの巨大な立体作品「キャンベルズトマトスープ」をはじめ内外の現代アーティストによる屋外展示の常設作品が点在しています。2008年には新しい屋外展示としてフェデリコ エレーロのカラフルな作品が加わりました。今後さらに、オラファー エリアソン、ジャン ミシェル オトニエル、イ ブルによる新作の設置が予定されています。

開架式収蔵庫

原美術館コレクションの一部は、新設した開架式収蔵庫に保管しています。学芸員や評論家、教育・研究機関に所属する方など主に美術の専門家を対象に、予約制で作品の閲覧・調査が可能となっています。

予約制ガイドツアーと開架式収蔵庫の特別公開

展覧会会期中の毎週日曜日(2:30pm より約 1 時間)、予約制にて学芸員によるギャラリーガイドツアーおよび開架式収蔵庫(現代美術)の特別公開をいたします。(中学生以上対象) ご予約・お問い合わせ先 (Tel:0279-24-6585)

カフェダール／ザ・ミュージアムショップ

大きな窓と高い天井が心地よいカフェダールでは、戸外の景色を眺めながら美味しいお食事や新鮮なグリーン牧場産のミルク、アイスクリームなどをお楽しみいただけます。ザ・ミュージアムショップでは、カタログ・書籍から T シャツ、アクセサリーにインテリア小物、ステーションナリーなど、生活を彩るオリジナルのアートグッズを多数取り揃えています。

原美術館

国際的な視点に立った現代美術館として活動する原美術館は、財団法人アルカンシェール美術財団を母体に、1979年、東京都品川区の閑静な住宅街に開館しました。建物は1938年に邸宅として建造(設計:渡辺仁)されたものを再生し、20世紀初期の西洋モダニズム建築の様式を取り入れた独特の空間です。国内外の優れた現代美術を取り上げた企画展、講演会・ワークショップなどの教育普及プログラム、音楽やパフォーマンスなどの各種イベントを開催し、活発な活動をしています。海外の美術館や美術関係機関・専門家との交流、相互協力も推進しています。

メンバーシッププログラム

美術をもっと身近に楽しみたい方のためのプログラム。メンバーに入会していただくことで原美術館とハラ ミュージアム アークの活動をサポートしつつ、知識を深め、交流の輪を広げることができます。会員特典は両館への入館が無料になるほか、講演会、パフォーマンス、コンサートやワークショップなどのイベントにも参加しやすくなります。また、季刊紙「HARA MUSEUM REVIEW」を毎月直接お届けいたします。

伊香保グリーン牧場 <http://www.greenbokujo.jp>

ハラ ミュージアム アークに隣接する伊香保グリーン牧場の広大な敷地には、羊・牛・馬・兎など350頭を超える動物やさまざまな樹木が植生し、四季折々に変化する自然を愛でながら動物たちとの触れあいを楽しむことができます。シーブドッグショーや牛の乳搾り教室、バター作り教室など楽しく多彩なプログラムを通して、人間と自然・文化の豊かな関係を育み、「いのち」の大切さを学べるきっかけづくりを提供しています。また、環境に配慮した資源の再利用にも積極的に取り組んでいます。(お得なハラ ミュージアム アークとのセット券もあります)



HARA MUSEUM ARC

ハラ ミュージアム アーク

住所: 群馬県渋川市金井2855-1 〒377-0027 TEL 0279-24-6585、 FAX 0279-24-0449

開館時間: 9:30am-4:30pm(入館は4:00pmまで)

休館日: 展示替え期間、冬期

*荒天時には、都合により臨時休館する場合があります。

入館料: 大人(中学生以上)1,000円 小人(3歳-小学生) 500円

ハラ ミュージアム アーク・伊香保グリーン牧場セット券

大人1,800円、小人900円

原美術館メンバーシップ会員無料、70歳以上半額、

20名様以上の団体割引あり、学校団体は別途料金規定あり。

*小人は要保護者同伴/群馬県内の小中学生が学期中の土曜日に美術館を利用した場合は無料

交通案内: JR上越線「渋川駅」より(上越・長野新幹線利用の場合は「高崎駅」で上越線に乗り換え)伊香保温泉行きバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車。徒歩8分。お車の場合、関越自動車道「渋川伊香保インター」より伊香保温泉に向かって8km、約15分。駐車場: 有[50台(無料)]

